

いきいき チャレンジ！ いなほの子

校長 島 軒 隆

本校は、今年9月に創立142周年を迎える歴史と伝統のある学校です。

校地東側に本校の創立100周年を記念して建てられた碑『幸よ 光よ われらが 母校』があり、碑文に「常に教育の重要性を認め 輝かしい伝統と良き校風を継承された」という一節があります。

この一節からも子ども達に対する保護者や地域の方々の温かな見守り、子ども達の健やかな成長への大いなる期待、学校への熱い思いが、時を経ても変わらないことが伝わってきます。

今年度も、教職員一同が力を合わせて子ども達の無限の可能性を引き出し、皆様の期待に応えてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

平成27年度の添川小学校の**学校目標**は、

○心の豊かな子ども ○進んで学ぶ子ども ○たくましい子ども

です。この目標のもと、「いなほの子ども」をめざす子ども像として掲げ取り組みます。

＜めざす子ども像＞「いなほの子ども」

い	いきいき	夢と目標を持ち、いきいきとチャレンジする子ども
な	なかよく	自分の考えを持ってなかよくし、高め合う子ども
ほ	ほこりを持って	ほこりを持って伸びようとする子ども

スローガン； **いきいき チャレンジ！ いなほの子**

「いなほ」という言葉は、本校の学校文集（昭和44年創刊）につけられた名前ですが、「実るほど頭を垂れる稲穂かな」～豊かな田園地帯にたつ本校の子ども達に対する保護者や地域の方々の願いが込められた言葉です。それ以来、その願いは今も変わることなく、本校の教育活動には「いなほ」という言葉が冠され、50年近く大切に受け継がれてきました。

「いなほの子ども」は創立140周年の年に、これからの子ども達に期待する姿として、また、学校と家庭・地域が一緒になって育てていきたい子どもの姿として設定されました。

今年度も継承してまいります。

自立の力と共生の心を育み、誇りを持った「いなほの子」の育成のために以下の3点を重点に取り組みます。

1 強い心と思いやりの心を持ち、共に生活をつくる子どもを育てる。

- 様々な場面に「自主的な活動」を位置づけ、自治的・自律的な話し合いの力を育てると共に、かかわりの中で感動体験を多く味わわせます。また、仲間意識や達成感を育て自尊感情を向上させます。
- 互いに関心を持って接し、よさを認め合う場を大切にします。「きらり活動」を学級並びに全校の活動として位置づけるとともに、授業や日常の活動でも場を設定します。

- 日常的な活動としてあいさつ運動に取り組みます。校内のあいさつ、児童同士のあいさつ、地域でのあいさつ、場に応じたあいさつへとステップアップした姿を共有し、重点化して取り組みます。
- 道徳の授業や学級活動を中心に、考え、話し合う活動を充実させます。
また、「添川小 いじめ防止基本方針」に基づいた指導・対応を確実にを行います。あわせて、児童の実態把握を定期的に行い、組織で、早期に対応します。

2 いきいきと表現し、共に考え、進んで学ぶ子どもを育てる。

- 児童が見通しを持ち、かかわりながら自ら学ぶ力を育みます。
- 書く力・話す力を鍛え、思考力・判断力・表現力の向上につなぎます。また、授業において、「書く」「話す」活動の活性化を図ります。
- 家庭学習の習慣化と自主学習の充実を図る指導を行います。
- 学校において読書の時間を位置づけ、あわせて家庭読書の習慣化に取り組みます。

3 めあてを持ち、共に健康・体力づくりに取り組む子どもを育てる。

- 適切な運動量を確保し、体力と技能の向上を図る指導を工夫します。
- 目標を明確にした体育活動を充実します。特に、「持久走」の取り組みの継続に加え、「投力」「柔軟性」を高める運動を計画的に指導します。
- 「こころとからだの学習」の充実に取り組み、自他のいのちを大切にする心を養います。また、食育、メディアとのかかわり、生活リズムについて継続して取り組みます。
- 危機回避や安全の確保について、児童が自ら判断し行動できるように防災教育を充実させます。

子ども一人一人が、なりたい自分を目指し、自分の努力や自分の成し遂げた結果に自信を持ち、その積み重ねが誇りになっていくように指導を工夫してまいります。また、友達や家族の励ましや協力に感謝し、自信を持って自分を表現できる姿を目指して努力してまいります。

